

◆ 4番（小川義昭君）

おはようございます。

昨年の6月定例会、そして9月定例会に引き続きまして、今定例会におきましても、一般質問の1番くじを引き当てました。なぜかいろいろと1番という数字に縁がありますが、本当に不思議でなりません。いずれにいたしましても、ありがたく受けとめ、トップバッターとして、通告に従い、一般質問を行います。議席番号4番、会派市民クラブ、小川義昭です。

稲刈りを終えた田んぼにはアカマンマが飛び交い、新涼の気が漂っております。中央政界には乱気流が逆巻いているようであります。その風の下で取り残され、忘れられるかに見える政策や課題も見え隠れします。地方、地域の課題から着実な展望を見つけ出さなければならない私たちの責任を思う秋であります。

9月定例会に当たり、昨年の6月議会において提案いたしました債権管理条例が、去る6月議会におきまして、議員の皆様方の賛成多数で可決されましたことに、作野市長初め担当された職員の皆様、そして議員の皆様に、改めてお礼と感謝を申し上げます。この条例は、県内初となるものであり、これからも市民の負担の公平性の確保と市の債権のさらなる適正化に向け、健全な行財政運営の確保を図っていただきたいと思っております。

さて、今定例会における私の一般質問は、1点目、2点目は、昨年9月の定例会で質問いたしました白山市の都心のまちづくり計画及び松任、美川、鶴来地域における商店街活性化計画のその後の進捗状況について、3点目は、地域の特性に応じて、地域住民がみずから考え、課題解決に取り組める組織づくりについて、4点目は、白山市観光プラットフォームの考え方についてをお伺いいたします。

1点目の質問、昨年9月の定例会において、白山市の都心のまちづくりについて市長に質問いたしましたところ、市長は、本市の中で中心市街地活性化法に基づく中心市街地で最もこの要件を満たすと考えられるのは、小売商業者や公共施設などが高度に集積している地域であるJR松任駅周辺であるとし、さらに、基本計画の策定期間は未定であるが、そのために必要な協議会の立ち上げに向け、速やかに商工会議所などと調整を図っていくと答弁されました。

その後、1年が経過いたしました。その方向性が見出せていないように見受けられますが、計画策定に向けた協議会立ち上げなど、作業の進捗状況をお聞かせください。同時に、白山市の都心まちづくりに対する市長の考えを再度お聞かせください。よろしく願いいたします。